

「道徳の時間」学習指導案

- 1 学 年 第3学年2組 37名
- 2 主題名 自分に正直に 内容項目 A－正直，誠実
- 3 教材名 まどガラスと魚 (出典：「生きる力」日本文教出版)
- 4 主題設定の理由

○ 過ちや失敗は誰にでもあるし、悪いことをした時には、正直に反省し、改めることが大切である。正直とは、誰かが見ていなくても、恥ずかしくない行動がとれることである。

しかし、この時期の児童は、自分が怒られるなど不利な立場に立たされたりすることを心配して、嘘を言ったりごまかしたりして、その場をしのぐことがある。嘘をついたりごまかしたりすることは、その場しのぎにしかならず、人間関係が悪くなる原因になることもある。嘘やごまかしがある時、自分の心はすっきりしない。人に対して、嘘を言ったりごまかしたりすることはできるが、自分の心に嘘はつけないからである。

うそや偽りがない正直な心を持ち、明るいい心で誠実に生きることの大切さに気付き、明るくすがすがしい心で生活していこうとする態度を養いたいと考え、本主題を設定した。

○ 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。

質 問 内 容	肯定的回答	否定的回答
① 正直に言えなかったことがありますか？	84% (31/37)	16% (6/37)
② 正直に言ってよかったと思ったことがありますか？	97% (36/37)	3% (1/37)

アンケートから、本学級の児童の「正直」についての実態を次のように分析した。

- ・児童の多くは、「正直に言えなかった」という経験をしている。正直に言えなかった理由は、「怒られそうだから」がほとんどであった。児童にとって、悪いことをした時に正直に認めるかどうかの判断基準は、「怒られるかどうか」によるところが大きく、他律的な判断の仕方をしていることが分かった。
- ・正直に言えなかった時の気持ちを「心がドキドキした」「嘘がばれないか、ずっと不安だった」と答えている児童が多かった。正直に言わなければいけないことは分かっているが、正直に言えず、心がしんどいという経験をしていることがわかった。このように思うのは、「正直でありたい」と思う気持ちが、自分の中にあるからである。自分の心に正直に生きることは、すがすがしい心で生活することにつながることに気づいていない。

- ・「正直に言ってよかった」と答えた児童に、正直に言った理由を問うと、「後でばれたら、もっと怒られるから」「悪いことをしていたことがばれたから」と答えた児童が最も多かった。児童は、自分のしたことを悪いと反省し、改めようとしたから謝ったのではないことが分かる。悪いことをした時に、正直に認め素直に改めることができていない。

- 指導にあたって、導入では、正直に言うことがなぜ大切なのか話し合う。「怒られるから」など、学習前の考えを素直に語らせ、「正直」への方向付けをする。

基本発問では、窓ガラスを割ってしまい、その場から逃げてしまった時の進一郎の気持ちを考えさせていく。自分の経験をもとに理由を語らせ、窓ガラスを割ったことを正直に謝ろうと思いつながら謝ることができない進一郎の気持ちに共感させていきたい。

中心発問では、ねこがしたことなのに1軒1軒たずねて回るお姉さんの行動とガラスを割ったことを正直に言うことができない進一郎の行動を比較して考えさせていく。進一郎が正直に謝ろうと決心したのは、お姉さんのように「正直でありたい」と思ったからである。誰かに見られているとか、怒られるかもしれないなどの理由からではなく、「正直でありたい」という気持ちが、お姉さんの行為を支えていることに気付かせたい。また、「正直に言うことは、なぜ大切なのか」考えさせることを通して、本教材を通して考え合ったことを整理していく。「だれかが見ていなくても、恥ずかしくない行動をとる」ことは、「自分の生活を明るくする」ことを児童の言葉を使ってまとめていきたい。さらに、導入時の意見と比較し、本時の授業を通して、より高い道徳的価値に気づくことができたことを肯定的に評価したい。

終末では、新しい気づきや友だちの意見を聞いて「なるほど」と思った児童の学びをしつかりと評価し、実践への思いをあたためさせたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、中学年の目標である「いけないことはいけないと言える子」（他者への思いやり）及び「相手の考えを素直に認められる子」（コミュニケーション力）に関連している。「過ちを正直に認め改め、明るい心で生活する」ためには、多様な意見を受け入れることができないとできない。ならない。

日常生活の中では、「トイレのスリッパをそろえる」「廊下を静かに歩く」などのルールが守れなかった時など、児童は正直に認め、改めることができないことがある。「誰が見ていなくても、恥ずかしくない行動がとれる」ことの大切さを理解し、正直に行動しようとする態度を育てていきたい。

6 ねらい

「誰かが見ていなくても、恥ずかしくない行動がとれる自分でありたい」という自分の心に正直に生きることは、明るい心で生活することにつながることを理解し、正直に明るい心で生活しようとする態度を養う。

7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

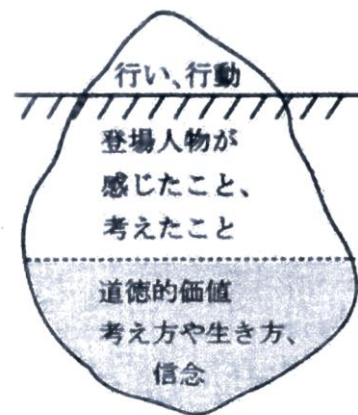
	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)・改善点(◎)
導 入	1 「正直」とは、どういうことでしょうか。	○「正直」とは、どういうことでしょうか。 ・嘘をつかない。 ・本当のことを言うこと。 ・悪いことをしたときに謝ること。	○「正直」について考えさせることによって、教材への方向付けをする。
展 開	2 教材前段「まどガラスと魚」を聞き、話し合う。 3 教材後段を聞き、進一郎が気付いたことについて考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まどガラスを割って夢中でかけ出した進一郎は、どんなことを考えていたでしょう。 ・悪いことをしたなあ。 ・謝らなくちゃいけないけど、怒られたくないなあ。 ・逃げたら、ぼくがしたってばれないかも。 ・ぼくだけが悪いのではない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「ガラスを割ったのはだれだ！」と書かれた紙を何度も何度も見に行った進一郎は、どんなことを考えていたでしょう。 ・気になっていたから。 ・ガラスを割られた人は怒っているのだろうな。 ・ぼくだって分かたら怒られる。逃げなくちゃ。 ・ぼくが割ったことがばれていないか心配。 ・謝った方がいいのは分かっているけど、謝れない。 </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「分かってよかったわ。」というお姉さんの言葉を聞いて、進一郎は、夜、どんなことを考えたでしょう。 </div> < A : 自分の心がしんどい > ・謝りに行こう！窓ガラスを割ったのに正直に言っていないから、心がもやもやしている。 ・ずっと心がもやもやしているのは嫌だから謝ろう。 ・怒られないかずっと心配しているのは嫌。	○不安や心配が先に立ち、正直に謝ることができず逃げ出した進一郎の気持ちに共感させ、自己中心的な意見をしっかりと出させる。 ○謝らなければいけないと思いつつ謝ることができない進一郎の心の葛藤に共感させる。 ○ワークシートに書かせることにより、自分の考えを整理させる。 ○なぜそう考えるのか理由をしっかりと語らせることにより、過ちを正直に認め改めることの大切さに気づかせていく。

	<p>お姉さんは、誰にも見られていないのに、なぜわざわざ自分から言うの？</p>	<p>< B : 相手の気持ちを考えて ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガラスを割られた人は、困っていただろうな。 ・ 相手の家の人に迷惑をかけてしまった。 ・ 悪いことをしたのだから謝って当然。 <p>< C : 正直に生きたい ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お姉さんはねこがしたことなのに、正直にたずねて回っていてすごいな。 ・ お姉さんは、誰にも気づかれていないのに、自分から正直に言っているからすごい。 ・ ぼくは正直に言っていない。お姉さんのように、正直に生きたいな。 ・ 正直に言わないと、ずっと心がしんどい。正直に言うと、心が明るくなる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「正直」とは、どういうことでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「正直」は、誰が見ていなくても、どんな時でも、正しい行動をすること。 ・ 「正直」は、自分の心を明るくすること。 	<p>○座席表で見取り、意図的指名につなげる。</p> <p>★「誰かが見ていなくても、恥ずかしくない行動がとれる自分でありたい」という自分の心に正直に生きることは、明るい心で生活することにつながることを理解し、正直に明るい心で生活しようとする思いを温めることができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>5 今日の学習のまとめをする。</p> <p>6 振り返りを交流する。</p>		<p>○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせる。</p>

(3) 年 (2) 組

内容項目 A-正直, 誠実

教材名 まどガラスと魚



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	<ul style="list-style-type: none">• まどガラスを割ったことを「正直」に言う。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none">• 正直に言っていないから、心がもやもやする。• ガラスを割られた人は、困っているだろうな。• お姉さんは、自分から誰にも気づかれていないのに、自分から正直に言っている。• 黙っていたらばれないのに、お姉さんは正直に言っていて、カッコいい。• お姉さんのように正直でありたいな。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none">• 誰かが見ていなくても、恥ずかしくない行動がとれる。• 「正直でありたい」という自分の気持ちに正直に生きる。• 「正直」に言うと、明るい心で生活できる。